

市議会だより

第152号



ウインターフェスタ実行委員の皆さん
左から3番目が河津常人実行委員長



竹で作った手作りのモニュメント



電球をチェックする高村今朝喜館長

もくじ

- 第4回定例会で審議した議案とその結果など …P2～P3
- 令和5年度決算の概要 …P4～P5
- 市政に反映、皆さんの声（一般質問） …P6～P14
- 各委員会の議案等の審査結果、常任委員会の行政視察報告 …P14～P17
- 意見書、議会のごきなど …P17～P19
- インタビュー、編集後記 …P20



令和6年 第4回（12月）定例会

11/29～12/19 21日間

本定例会では、条例の一部改正、令和6年度一般会計補正予算など、44件の議案について審査を行い、次のとおり決定しました。

■本定例会で審議された議案とその結果

議案番号	件名	議決結果
議案第 78 号	日田市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正について	原案可決（全会一致）
議案第 79 号	日田市スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	//
議案第 80 号	大分市と日田市との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止について	//
議案第 81 号	別府市と日田市との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止について	//
議案第 82 号	中津市と日田市との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止について	//
議案第 83 号	日田市と佐伯市との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止について	//
議案第 84 号	日田市と臼杵市との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止について	//
議案第 85 号	日田市と津久見市との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止について	//
議案第 86 号	日田市と竹田市との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止について	//
議案第 87 号	日田市と豊後高田市との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止について	//
議案第 88 号	日田市と杵築市との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止について	//
議案第 89 号	日田市と宇佐市との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止について	//
議案第 90 号	日田市と豊後大野市との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止について	//
議案第 91 号	日田市と由布市との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止について	//
議案第 92 号	日田市と国東市との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止について	//
議案第 93 号	日田市と日出町との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止について	//
議案第 94 号	日田市と九重町との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止について	//
議案第 95 号	日田市と玖珠町との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止について	//
議案第 96 号	日田市高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定の変更について	//
議案第 97 号	日田市交流・コミュニティセンターの指定管理者の指定について	//
議案第 98 号	日田市老人憩の家の指定管理者の指定について	//
議案第 99 号	日田市勤労者総合福祉センターの指定管理者の指定について	//
議案第 100 号	日田市観光案内所の指定管理者の指定について	//
議案第 101 号	日田祇園山鉾会館の指定管理者の指定について	//
議案第 102 号	天領日田資料館の指定管理者の指定について	//
議案第 103 号	日田市鯛生金山観光施設等の指定管理者の指定について	//
議案第 104 号	日田市椿ヶ鼻ハイランドパークの指定管理者の指定について	//
議案第 105 号	奥日田フィッシングパークの指定管理者の指定について	//
議案第 106 号	日田市大山梅資料館・梅蔵の指定管理者の指定について	//
議案第 107 号	日田市農産物加工施設の指定管理者の指定について	//
議案第 108 号	日田市営駐車場の指定管理者の指定について	//



議案番号	件名	議決結果
議案第 109 号	日田市公園の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第 110 号	日田市スポーツ施設の指定管理者の指定について	//
議案第 111 号	日田市 B & G 海洋センターの指定管理者の指定について	//
議案第 112 号	日田市鯛生スポーツセンターの指定管理者の指定について	//
議案第 113 号	令和 6 年度日田市一般会計補正予算 (第 4 号)	//
議案第 114 号	日田市一般職員の給与に関する条例等の一部改正について	//
議案第 115 号	日田市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	原案可決 (多数)
議案第 116 号	日田市議会議員の議員報酬並びに費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	//
議案第 117 号	令和 6 年度日田市一般会計補正予算 (第 5 号)	//
請願 第 4 号	子どもたちのゆたかな学びを保障するために長時間労働是正を求める意見書提出を求める請願	採 択 (全会一致)
請願 第 5 号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する請願	採 択 (全会一致)
意見書案第4号	子どもたちのゆたかな学びを保障するために長時間労働是正を求める意見書	原案可決 (全会一致)
意見書案第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決 (全会一致)

令和6年第4回定例会 賛否の状況

議案番号	議決結果	賛否		会派名等、議員名及び賛否の別 ※1																				
		賛成	反対	市政クラブ				新世ひた				市民クラブ				日本共産党	公明党	無所属						
				岩見	財津	梅原	原田	宮崎	中原	崎尾	石橋	坂本	居川	三苦	佐藤	井上	溝口	梶原	中島	今井	大谷	日隈	坂本	松野
議案第 115 号	可決	19	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
議案第 116 号	可決	19	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
議案第 117 号	可決	19	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○

※1 「○」は賛成、「●」は反対(不賛成)を表します。
 ※2 議長(三苦誠)は、可否同数のとき又は特別多数議決のとき以外は表決に加わりません。

賛否の主な討論の内容

■ 議案第115号、議案第116号、議案第117号 (反対討論)

人事院勧告というのは、労働基本権が制約され、給与等の勤務条件の改定に、自ら関与できない国家公務員のため、第三者機関の人事院が国会と内閣に必要な見直しを求める制度であるが、特別職の給与や議員の報酬は、それぞれが自ら提案できるもので、人事院勧告によるものではなく、本来ならば、報酬審議会で議論をされるべきではないかと考える。

国民の暮らしの現状は、物価高騰に賃上げが追いついていないという状況で、実質賃金は目減りとなっており、年金も物価高騰に連動していない。社会保障分野では、高い介護保険料や社会保険料、国保税が市民生活を圧迫している。地場中小企業の状況は、日田商工会議所が発表する市内企業の景気動向調査結果では、7月から9月期での全業種合計で、業況DIはマイナス25.8ポイントと大きく悪化をしている。このような市内経済と市民生活の状況に配慮すべきであることから、特別職や議員の期末手当については据え置いてはどうかと考える。

以上の理由から、議案第115号、議案第116号に反対し、この2つの議案を踏まえた人件費を補正する予算が含まれている議案第117号についても反対するもの。



令和6年第1回臨時会の結果

去る令和6年11月5日に開かれまして臨時会の結果をお知らせします。

■臨時会で審議された議案とその結果

議案番号	件名	議決結果
認定第1号	令和5年度日田市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(多数)
認定第2号	令和5年度日田市公営企業会計決算の認定について	認定(全会一致)
議案第77号	専決処分(令和6年度日田市一般会計補正予算(第3号))の承認について	原案承認(全会一致)

令和5年度 決算の概要

9月定例会で付託された令和5年度一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算認定については、9月18日に設置した決算審査特別委員会で審査を行いました。

まず、10月4日に執行部から令和5年度決算概要について説明を受け、10月18日までの間、分科会ごとに決算の詳細について審査を行い、10月29日には、各分科会長から分科会における審査の経過や結果について報告を受けた後、質疑、討論、採決を行い、委員会審査を終了しました。

その後、11月5日に臨時会を開催し、決算審査特別委員長から審査内容の報告の後、採決を行った結果、「認定」となりましたので、その概要をお知らせします。

使われたお金(一般会計歳出決算額)

398億2,393万3千円

特別会計歳出決算額 166億2,371万円9千円(6会計分)

区分	令和4年度	令和5年度	順位
	指数等	指数等	
経常収支比率	93.6%	94.5%	7位

※普通会計とは、一般会計と特別会計の一部を合わせたものです。
※順位は、県下14市中です。

経常収支比率

毎年決まって入ってくるお金のうち、毎年決まって出ていくお金の割合を示す数字です。数字が大きい方が、その割合が高く財政の融通が利きにくいということを表します。

※決算額等の詳細は、広報ひた令和6年12月号(10~11ページ)に掲載されていますので、そちらを参照してください。

●審査結果を早期に報告するため、臨時議会を開催しました

12月以降は市における新年度予算の編成作業が本格化する時期です。新年度予算編成において決算審査の結果を反映しやすくすることを目的に、令和3年度から早期に審査結果を報告するための臨時議会を、審査終了直後の11月初旬に開催しています。今年は11月5日(火)に開催し、決算審査特別委員会委員長から審査結果の報告を行いました。

●決算審査特別委員会委員長報告の概要

木材加工流通施設等の施設整備に対する支援を行った、林業・木材産業構造改革事業や、地区公民館整備事業などの減により、歳入歳出いずれも前年度と比較して減額した決算となっています。このような中、まちづくりや災害からの復興を行う事業、子育て、教育支援や商工、農林業支援など、市が行う事業がより効果的な施策となるよう、25項目について付言・要望し認定としました。また、水道・下水道事業においては、老朽管更新について、年次計画が定められていることから、事業実施体制の整備を行い計画的、効率的に、確実に実施することを要望し、同様に認定しました。



ひた市議会だより

●各分科会長報告の要望事項

<h3>総務環境分科会</h3>	<p>○職員人件費全般 引き続き業務の効率化を図り、時間外勤務の削減に努めること。</p>
<p>○市税 所得が高い者の滞納件数が増えており、税の公平性の面から、引き続き徴収率の向上に努めること。</p>	<p>○天ヶ瀬温泉街復興プロジェクト事業 補助金だけに頼らない事業の実施方法の検討を促すこと。</p>
<p>○集落活動推進事業 集落支援員を増やす取組を進めること。また、集落支援員の活動の効果をさらに高めるために、住民自治組織とより密接な関係を持ち、地域からの声が届きやすい市の体制作りを行うこと。</p>	<p>○個人番号カード交付事業 市民課はマイナンバーカードの申請、交付をするだけでなく、健康保険関連の質問があった場合にも、適切に対応できるよう、日頃から健康保険課と連携して業務を行うこと。</p>
<p>○公共交通対策費 日田市周辺部の交通利用者の利便性に大きく寄与しているとはいえないことから、民間交通会社と、実情を直視した中で協議等を行い、利用者の利便性につながる事業とすること。</p>	<p>○美しいひたづくり推進事業 美化推進モデル地区活動事業交付金の新規受付を終了するなど事業内容に大きな変更があることから、他の事業とあわせて、目的や事業内容を整理すること。</p>
<p>○地域資源リサイクルシステム施設整備事業 他の事業や政策の進め方として、最終結果が出る前に方向性を確認するなど、必要に応じて早めの議論を適宜行うこと。</p>	<p>○住家被害認定調査システム構築事業 全国に先駆けて取り組んだ素晴らしい事業であることから、マスコミやホームページ等活用し、全国に情報発信することで、日田市の知名度アップにつなげること。</p>
<h3>教育福祉分科会</h3>	<p>○重層的支援体制整備移行準備事業 8年度からの体制整備に向けて、移行準備を牽引する役割を持つプロジェクトチームの設置を検討すること。</p>
<p>○ひきこもりサポート事業 ひきこもり家庭の表面化しにくい困りの発見や、支援につながる体制構築のためにも、市内実態調査の実施や、家族会や関係者との建設的な意見交換会などを実施し、効果的な施策を行うこと。</p>	<p>○支援対象児童等見守り強化事業 関係する他機関と連携する等の効果が見られ、こどもの見守り体制の強化にもつながっていることから、今後も継続して、支援につなげるための取組を強化すること。</p>
<p>○生活困窮者自立支援事業 いまだ物価高騰は続いており、生活福祉資金貸付後には返済もあることから、継続した支援につなげること。</p>	<p>○スクール・サポート・スタッフ配置事業 配置基準の見直しのほか、市独自の予算措置を講じる必要性について検討すること。</p>
<p>○特別支援教育活動サポート事業 引き続き特別支援学級の増設を県に働きかけると共に、補助職員の増員をすること。あわせて、障がいのあるこどもと障がいのないこどもが可能な限り共に教育を受けられるように条件整備に取り組むこと。</p>	<p>○スポーツ合宿誘致推進事業 効果的なマーケティングを行い、他市の広報活動を調査研究するなどして、多くのスポーツ団体に周知されるような積極的な誘致活動に取り組むこと。</p>
<p>○小学校管理運営費及び中学校管理運営費 屋内外体育施設は、自然要因の影響により急激に劣化が進行する可能性が考えられることから、学校関係者や保護者、地域住民の声も参考にして、柔軟に、かつ、しっかりとした点検を行い、点検結果に応じた措置を行うこと。</p>	<p>○日田市介護保険特別会計 日田市における年齢階層別の要介護度の分布状況や、要介護度別のサービス平均費用を確認したところ、全国平均を上回っている項目が見受けられたことから、介護施策の検証と見直しを行うこと。</p>
<h3>産業建設分科会</h3>	<p>○しいたけ生産促進事業 使いやすい補助事業とするため、補助要件の見直しを図ること。</p>
<p>○ひたを担う人材育成事業 人材育成に関する事業を立案する場合は、事前協議や準備、費用対効果を十分に検討すること。</p>	<p>○畜産飼料高騰特別支援事業 自給飼料の生産拡大のため畜産公共事業の安定化を目指し、大分県と更に連携しながら農家が利用しやすい事業にするとともに、市独自の対策を講じること。</p>
<p>○ひたで働く魅力発信事業 今後も求職者のニーズ把握やアプローチ方法など、適宜見直しを行うとともに、目的と費用対効果を勘案しながら事業の必要性を検討すること。</p>	<p>○耐震改修促進事業 更なる改修費用補助率の引き上げや、耐震改修の促進を行うとともに、リフォーム助成事業の見直しを大分県に働き掛けること。</p>
<p>○経営所得安定対策等推進事業 引き続き収益性の高い園芸品目の生産に取り組む生産者の支援に加えて、小規模稲作農家の事業継続に向けた支援策を強化すること。</p>	<p>○道路維持費 引き続き住民の要望に応え交通量、緊急度を優先し事業を実施することで住民の安心・安全を守ること。また、線路跡地については、JR日田彦山線沿線地域住民の要望を受け、地域生活道路など更なる線路跡地活用の協議をJR九州と進めること。</p>



市政に反映 皆さんの声



令和6年第4回定例会では、12月、6、9、10日の3日間にわたり一般質問が行われ、16人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

一般質問

質問

日田市自治基本条例に基づいた市民参画・市民協働のまちづくりの現状と課題は？

回答

市民意識の醸成が課題



無所属

高倉 貴子 議員

質問 日田市自治基本条例施行から十年以上が経過。アンケート調査では、市民の約86%が条例について知らないと回答。市民参画を促進するための取組や対策は。
部長 市民まちづくり集会などを行っているが参加者数が限られているなど、市民意識の醸成には至っていない。
質問 日田駅前広場及び駅舎2階を活用した自治基本条例推進事業の評価及び今後の方向性、事業者や地域住民との情報共有は。

部長 日田駅前の活性化が図られた。事業者との情報共有は行っている。

質問 重要文化的景観小鹿田焼の里の規制緩和は専門家とともに検討しているのか。また、本計画の景観形成基準は国からの指導によるものか。
教育次長 国、県・専門家には相談していない。景観形成基準は日田市の景観計画に基づき定めた。

市民が主役のまちづくり

日田市自治基本条例



一緒に考え、行動しませんか

この条例は、市民・議員・行政が一緒になって、自分たちの地域のまちづくりを自分たちで考え、行動していくための、基本のルールを定めたものです。

日田市

議会をご覧になりませんか

会議は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。車いす（3台分）での傍聴もできます。皆さんのお越しをお待ちしています。





一般質問

質問

日田市の大事な高校生を誰が救うのか

回答

市内の高校との連携を深める包括的な仕組みづくりを進める



市政クラブ

原田 裕文 議員

質問 県内の高校では、不登校生徒の約半分が退学する実態があるが、市として高校生の退学、不登校者数の把握を行っているか。
部長 県教委に確認したが、人数については状況確認できない。今後、情報が得られるよう県教委に求めていく。
高校生年代までの医療費無償化 質問 高校生年代までの医療費無償化について、市の施策は高校生年代に対して冷たい状況である。その高校生達が、将来日田市に帰って来るか。県下全域

で進められている高校生年代の医療費無償化の実施を要望する。
市長 県の高校生年代の医療費無償化制度には、県と市の役割分担、あるいは制度設計の在り方の議論は残る。市民からの要望を含め、市民である高校生への医療負担軽減の要望は分かるが、全体の財源には限りがある中で、優先順位を判断させていただく。



一般質問

質問

学校の人員不足がこどもたちの成長に影響を与えていないのか伺う

回答

市教委がしっかりと学校体制づくりをサポートすることが必要



市民クラブ

中島 章二 議員

質問 日田市の医療確保のため、県、市、医師会、済生会と緊急に協議を進め、10年後の日田市が安心して暮らせるまちなることを要望するが、市長の考えを伺う。
市長 県が済生会日田病院の建て直しや、西部医療圏の医療確保に責任を持って取り組んでいただけるように、県としっかりと協議を行った上で、市としてもできる支援を考えていきたい。
質問 学校の人員不足が、こどもたちの学びや成長に影響を与えてはならないと考えるが、市

教委としての考えを伺う。
教育長 市教委がしっかりと学校体制づくりをサポートするということと、学校だけで抱え込むのではなく、支援組織や関係機関の方々と十分連携を取って、こどもを真ん中に置いて考えていくことだと考えている。





一般質問

質問

日田市農業における人口減少、高齢化の影響をどう捉えているか

回答

農業経営者の数は5か年で26%の減。農業従事者の60歳以上の割合は82%上昇している



新世ひた

石橋 邦彦 議員

質問 現在の農業振興策を問う。

部長 有望品種の新植・改植・園芸産地づくり・営農法人等の農地集積・新規就農者育成事業等を実施している。

質問 稼げる農業として将来の展望が期待できるか。

部長 農地の集積による規模拡大、企業参入、新規就農者への初期所得補填等、県と連携し、経営発展に向けた活動を行っている。

質問 市民の利便性を考えた時、民間路線バスを乗り合いタクシーへ変更はできないか。

部長 費用対効果を含め、沿線地域の市民、関係機関、自治体と協議をしたい。

質問 現在、運転手不足が社会問題となっている。日本版ライドシェアについての取組を問う。

部長 その必要性や実施可能性については、今後、丁寧に調査研究を行っていく。



ハウス内イノシシ掘り起こしの様子

一般質問

質問

有機農業を推進し学校給食に有機野菜を使う日杵市の評価は？

回答

学校給食に使う野菜の24%が有機野菜で先進的な事例と言える



日本共産党

日隈 知重 議員

質問 優良堆肥の生産と土づくりの現状はどうか。

部長 日田市循環型農業推進協議会が、畜産堆肥を活用した土づくり、減農薬・減化学肥料などによる環境負荷を減らした循環型農業を進めている。

質問 有機農業を推進し、学校給食に有機野菜を積極的に使う日杵市の取組の評価はどうか。

部長 日杵市は学校給食に使う野菜の24%が有機野菜。有機農業者にとって安定的な販売先になっている。有機農業者は平成23年の15戸から令和3年の67戸

に増え、先進的な事例として評価している。

質問 日杵市は市場価格の5割増しで買っている(財源は農水省の交付金)。日田市でも学校給食への供給体制をつくる手立ては、あるのではないか。

部長 市内の有機農業者(4名)、農業振興課、学校給食課の3者で意見交換を行なっている。





一般質問

質問

学校現場における働き方の改善の取組は進んでいるか

回答

教員増については、県を通じて国などに要請していきたい



市民クラブ

今井 美保 議員

質問 学校現場の働き方の改善に向けた留守番電話やメールでの欠席届の取組は進んでいるか。
教育長 留守番電話については今年度中に全学校に導入する予定である。メールを使った欠席届は、学校の規模や実情に応じて、令和6年11月時点で10校が導入している。

質問 国や県に頼らない市独自の取組として、社会科学見学や総合的な学習の時間の校外学習、学校に講師を招き講演してもらう等、外部との連絡調整を行う担当スタッフの増員をしてはどうか。
教育長 授業ではない日程調整等、事務的な業務については、考えていくことも可能である。

か。
教育長 代替教員が確保できるまで、本来、担任外として配置された教員を担任としている。



一般質問

質問

デジタルクリエイティブ人材育成拠点の設置はできないか

回答

市単独での設置は難しいと考える



市政クラブ

中原 晴剛 議員

質問 児童生徒のデジタルクリエイティブ人材育成については特段の事業が見受けられないが、市はどのような考えか伺う。
部長 重要性を認識しているが教える側の人材確保や育成の仕組み、場所や機材の整備など多くの課題があると考える。

質問 人口が減少する中、労働力不足、生産性の向上などに対応するために重要な事だと考えている。
質問 ーTを活用した事業は、福祉や地域コミュニティでも利用されている。近隣の市町村ではアイデアを出し、財源を確保しながら既に動き出しており、日田市は出遅れていると考える事から調査研究を行っていただきたい。

質問 日田市におけるーT人材不足の問題、人口減少の歯止めの波及効果などの観点から、児童生徒の人材育成は必要と考えるが市長の考えを伺う。
市長 子どもたちをデジタルクリエイティブ人材として育成すること





一般質問

質問

学校敷地内の危険箇所は、いち早く工事をすべきでは？

回答

今後は、必要な補修を行いながら安全管理を徹底してい



公明党

坂本 茂 議員

質問 学校の敷地内での危険箇所については、いち早く、工事をすべきではないか。

に分けて、年に1回、目視点検又は剪定を実施している。

教育次長 児童生徒の安全確保は、最優先事項である。今後は、しっかりと学校施設の点検を行うとともに、必要な補修などを行いながら、児童生徒が安心して学校生活を送れるように、安全管理を徹底していく。

質問 不審者侵入防止の観点から安全管理については、どのように行っているのか。

教育次長 学校の防犯対策を強化し、学校施設への不審者侵入の抑止力を目的に、令和5年度から7年度にかけて、全ての小中学校で、24時間対応の防犯カメラを設置している。

質問 樹木の管理については、どのように行っているのか。

教育次長 小中学校の30校を支援木の剪定などを行うグループと目視点検のみを行うグループ



一般質問

質問

若者の意見も取り入れ、大肥の郷まちづくり将来ビジョンの確実な実現を求める

回答

大鶴駅周辺整備など地域と協議しながら取組を進める



市民クラブ

梶原 信幸 議員

質問 JR線路跡地の維持管理や活用については、市の関与は。

要である。法的な部分も含め、道路管理者などの関係機関と協議のうえ取組を進める。

部長 引き続き、JR九州と連絡を密にして対応する。

質問 この他、令和6年度訪問

質問 BRTひこぼしラインの開業効果は。

介護の基本報酬の引下げ問題、非常勤職員の処遇改善について質問した。

部長 利用者は、開業から1年間で10万人を超えた。鉄道時代より利便性の向上につながっており、日常生活に良い変化が生まれている。

質問 BRT利用促進のため、バス停にベンチや日よけを設置できないか。

部長 バスを待つ環境の整備は必



BRT のバス停



一般質問

質問

竜門ダム導水路漏水問題を、市民に周知する必要があるのではないかと感じています。

回答

冊子など周知できるものを作成し、市の機関、関係先に置かないか検討していきたい。



市政クラブ

宮崎 陽治 議員

質問 竜門ダム導水路漏水問題について、まずは、広く市民に周知する必要があるのではないかと。

部長 被害地区の状況や建設から現在までを、冊子など周知できるものを作成し、市の機関関係先に置かないか検討していきたい。

質問 竜門ダムへの導水は、流量が限裏で27トンを超えた場合に限りとしているが、27トンを下回った日があるか。

部長 年間119日程度あった。質問 27トンを下回った日も、



竜門ダム導水路の現状
(提供：菊池川河川事務所)

日田市の地下水が熊本県側に導入されている事についてどう捉えているか。

部長 漏水量の継続的な監視と漏水対策を国に求めている。

質問 市長は本事業についてどう考えているか。

市長 非常に危惧している。国に早期解決を要望しながら熊本県側の関係機関と連携し、上・中津江地区の振興を図りたい。

一般質問

質問

生ごみを焼却処分とする理由を問う

回答

バイオマス資源化センターを廃止することにしたことが大きい



市政クラブ

財津 幹雄 議員

質問 生ごみについては、地域資源リサイクルシステムで対応するとしていたのでは。

部長 豚糞尿などとともに、地域資源リサイクルシステムで処理する方針であったが、再検討した結果以前のように焼却処分とするに至った。

質問 焼却するにしても、できるだけ生ごみを減らす努力をするべきではないか。

部長 食品ロスを減らす取組やコンポスト等による堆肥化など市民の協力を得る取組を行う。質問 自治会活動等推進事業で

緊急性のあるものや、少額の事業については、当該年度の補助金で対応できないか。

部長 過去には災害による被災施設の復旧や落雷による防犯灯の修理などに支給した例がある。

質問 少額の事業、例えば10万円以内のものは、当該年度に支給する検討はできないか。

部長 関係者と協議検討する。



近く役割を終える資源化センター



一般質問

質問

災害時のオーラルフレイル対策は？

回答

必要な備品は適時見直しを行っていく



新世ひた

居川 太城 議員

質問 オーラルフレイルは、口の機能の健全な状態と口の機能低下との間にある状態。オーラルフレイルであると、将来のフレイル、要介護認定、死亡のリスクが高いことがわかっている。オーラルフレイルの始まりは、ささいな症状で見逃しやすく、気づきにくい特徴がある。そのため本市の取組を伺う。

への避難が長期に渡ることもあった。災害関連死を防ぐ意味でも口腔ケアや備品の見直し、改善も必要と考えるが見解を伺う。
副市長 デンタルフロスや断水時に有効な口腔ケアシート等は被災者の口腔ケアに大変有効だと考える。オーラルフレイルの観点から必要な備蓄品は適宜見直しを行っていく。



一般質問

質問

鵜飼をどう保存していくかと考えているのか

回答

後継者を地域おこし協力隊として全国から公募することも検討する



市政クラブ

崎尾 亮介 議員

質問 鵜飼に対する市民周知が十分ではないと感じるが。
教育次長 応募型の出前授業を児童生徒に向け実施している。
質問 実施回数が少ないので、全学年を対象とした、自分達の文化を守る気風を醸成するカリキュラムが必要ではないか。
質問 鵜飼は県の無形民俗文化財に指定されているが、県の補助は単発で十分ではないと感じる。生計を維持するために、屋形船の利用促進のためのアップデートや、鵜飼のプロデュースが必要と考えるがどうか。

部長 訪日外国人観光客に向けた魅力発信に努める。
質問 どういう形で保存するか。
市長 鵜飼と遊船の魅力を磨き上げ発信し、後継者や生計の問題もあらゆる関係機関と協議し問題解決に努める。新しい取組として、後継者を地域おこし協力隊として全国から公募する事も検討する。





一般質問

質問

物価高騰も続く中、ひたpayを活用した事業はしないのか伺う

回答

国、県の交付金や補助金の使用が見込め、かつ商品券事業などへの活用が可能であれば検討する



市政クラブ

梅原 竜也 議員

質問 資源ごみの過去3年間の回収金額を伺う。

部長 売却額から、必要経費を差し引いた収入額は、令和3年が2245万64円。令和4年が3745万1579円。令和5年が2909万3607円。令和6年9月末で1181万1932円。

質問 福岡の業者が、古紙等回収(黄色)ボックスを市内に9か所設置している。令和4年と5年を比較すると約850万円収入額が減少しており、他県の企業に収入を持っていかれているのではないかと、市が考えているのかと伺う。

部長 資源回収ボックスの設置は法的にも問題はなく、他市においても同様の状況にある。

質問 おいても同様の状況にある。
質問 市内の古紙等回収業者は2社あり、回収ボックスは死活問題である。これについて伺う。
市長 拠点回収することは、市民のニーズがあつてのこと、ニーズに対応することはどこの業者であろうと重要である。

質問 この他、周辺地域活性化対策事業など質問した。



一般質問

質問

市に不登校児童生徒のための学校を新設する考えはないか

回答

現時点では考えていない



市政クラブ

岩見 泉哉 議員

質問 2023年は178名の不登校と言われる児童生徒がいる。なぜ学校に行けなくなったのか、原因に対してどのような対策をしているのか。

教育長 色々な要因が複雑に絡みあつ場合が多い。こどもを真ん中に福祉と連携して取り組む。

質問 学校に行けない児童生徒の勉強の手伝いをする施設は何か所あるのか。市はその施設に対して援助しているのか。
教育長 組織は、やまびこ学級、フリースクールあさひ、ひなた、カラコルの会がある。本年4月か

ら、児童生徒の保護者に利用料の補助を開始した。

質問 不登校の児童生徒をこの人数になるまで止められなかったのか。
教育長 色々な社会的要因・背景というのものではないか。欠席情報や欠席が連続しそうな児童生徒の把握に努めていく。

質問 日田市の学校で学び、卒業出来て良かったと言ってもらえ、また、不登校の児童生徒がいなくなるようしていただきたい。





一般質問

質問

天ヶ瀬温泉街復興において、天ヶ瀬町全体の振興をどのように考えるか

回答

周辺地域の連携が必要、各地域の関係者による意見交換の場を設けていく



新世ひた
佐藤 孝彰 議員



質問 天ヶ瀬温泉街復興の為に、天ヶ瀬町全体の周遊が必要である。その為の交通手段は何かできないか。

部長 交通不便者の為の交通手段としてライドシェアと住民支え合いの送迎の2つが挙げられる。住民支え合いの送迎については取り組んでいるが、一般のドライバーが運転する日本版ライドシェアについては課題が多い。導入には至っていない。

質問 天ヶ瀬町にはまちづくり活動をしている団体が多くある。そのため、温泉街の方々に加え、

天ヶ瀬町全体を対象を広げ、まちづくりを一緒にできないかと思っている。天ヶ瀬町を一つとした方向で振興策を考えていかなければならないと思うがどうか。

部長 近年は多くの地域にて民間が主体となり地域の環境や価値を向上させるまちづくりが行われている。地域の振興に繋がる様、地域の皆様と協議を重ねていきたいと考えている。

質問 天ヶ瀬町にはまちづくり活動をしている団体が多くある。そのため、温泉街の方々に加え、

天ヶ瀬町全体を対象を広げ、まちづくりを一緒にできないかと思っている。天ヶ瀬町を一つとした方向で振興策を考えていかなければならないと思うがどうか。



天ヶ瀬町五馬にある玉来神社

報告 各委員会の議案等の審査結果

総務環境委員会

令和6年度日田市一般会計補正予算(第4号)4億7164万8千円、令和6年度日田市一般会計補正予算(第5号)5019万1千円を全額可決。

オンライン化を目指すものです。オンライン化により利便性は向上しますが、利用方法やルールについて、分かりにくい部分もあることから、図を用いるなど、理解しやすい周知を行うよう要望しました。

●日田市交流・コミュニティセンターの指定管理者の指定について
本案は、日田市交流・コミュニティセンターの一部の施設について5年間の指定管理者を再指定するものです。審査の過程において、「少子高齢化が進む中、地域住民だけで施設の維持管理ができるのか」、「今年度、地域の意見交換や協議は充分に行えたのか」などの質問が出されました。今後の施設の在り方や運営に関して、日田市公共施設等総合管理計画に基づき地域の皆さんに丁寧な説明を行いながら、協議を進めるよう要望しました。

今回の主な歳入の補正(第4号)は、農地・農業用施設の整備費用や災害復旧事業などに対する県支出金などです。

また、主な歳出の補正(第5号)は国の人事院勧告や大分県人事委員会勧告に基づく職員給与の改定などです。

●日田市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正

本案は、国が進めるデジタル社会の実現に向けた重点計画の中で、行政手続きや施設予約の



教育福祉委員会

日田市スポーツ施設の予約システムをオンライン化に変更

●日田市スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
本案は、施設予約システムの導入と、それに伴う使用料の後納に関する規定を追加するものです。

今回、オンラインによる予約システムを導入することで、これまで課題とされてきた、施設予約を行うには市役所や指定管理者の窓口に向く必要があること、リアルタイムで予約状況を確認できないこと、閉庁時には対応できないことなどが解決されます。

また、使用料については、予約時に支払っていたものが後納となることで、キャンセルや日時の変更による返金手続きの必要がなくなります。

導入に当たっては、施設予約

システムの変更について周知を徹底するとともに、利用者への説明を丁寧に行うことで、施設利用の際に混乱を招くことがないように要望しました。

●中学校部活動推進事業

本事業は、休日部活動の地域移行に向けた試験的実施に係る費用の増額等を行うものです。実施後には、検証結果のほか、ごもたちや保護者、地域の方々をはじめとした関係者の意見も参考にしながら、休日のスポーツや文化活動を地域全体で支えていけるような取組を行うよう要望しました。



産業建設委員会

議会に予算を提案する際は、十分に検討するよう強く要望！

●日田市公園の指定管理者の指定について

本案は、公園施設の管理を行わせる指定管理者を指定するため、現行の受託団体に引き続き管理運営を行わせるものです。審査の中では、指定管理者の「日田市市民サービス公社」について、「これまで以上に効率的な管理・運営に努めながら、公園施設の安全対策や事故防止の対応を進めるよう」との意見が出されました。

また、市は管理監督者として、職員の人材育成、さらには魅力的な自主事業の実施や地域向けイベントの開催などについて、助言するよう要望しました。

●農地耕作条件改善事業（高収益作物転換型） 椰野地区

本事業は、当初計画通りの土

壌改良では、梨等の生育に適しない土壌となる事が判明したことに伴い、良質土で土の入れ替えを行う必要が生じたことから、工事費を増額するものです。審査の中では、本地域は平成29年7月豪雨による山腹の大規模崩落した場所であることから、「土壌の中に多数の石が混入している事は容易に予見できたのではないか」という意見が出されました。

さらに、本事業については、今定例会において2回続けての補正となることから、議会に予算を提案する際は、事前の調査、関係者との協議、「コスト意識、費用対効果などを十分に検討するよう強く要望しました。」





常任委員会の行政視察報告

総務環境委員会

◆期日：令和6年8月20日（火）

～8月22日（木）

◆視察地・項目・内容

①みやま市（福岡県）

・学校跡地利用及びバイオマスセンターフランについて

↓学校跡地を利用したバイオマスセンター建設からの流れと、可燃ごみの約4割を占めていた生ごみを資源化することで、市内に資源循環の環を形成した取組状況やその効果を調査しました。

②養父市（兵庫県）

・公共交通「やぶくる」の取組について

↓全国でも先進例である、市民を登録ドライバーとするライドシェアの取組、事業実施までの検討状況及び現状について、また、導入に係る組織づくりや、



民間事業者との協力関係をどのように築いたかなど、具体的な取り組みについて調査しました。

③姫路市（兵庫県）

・総合交通体系の構築に向けた取組について

↓姫路総合交通計画について、特に地域に応じたコミュニティバスの事例として、スクールバスを活用することで、導入までの経費や準備期間を短縮することができた事例などを調査しました。

教育福祉委員会

◆期日：令和6年8月19日（月）

～8月21日（水）

◆視察地・項目・内容

①豊田市（愛知県）

・豊田市メタバース将来ビジョンについて

↓メタバースが今後、重要な社会基盤となり、ひいては不登校児童生徒の家庭支援やひきこもり対策など、コミュニケーションが鍵となる社会課題に対する解決策にもなりうるという考えのもと作成された将来ビジョンについて調査しました。

②京丸園（静岡県浜松市）

・農福連携について

↓農業による生きがいづくりや、高齢者、障がい者の社会参画などの効用を、農業経営の改善や多様な担い手の育成などに活かす農福連携について、先進的、意欲的に取り組まれている京丸園を視察し、代表の鈴木氏からお話を伺いました。



③シードーム（愛知県岡崎市）
・サドベリースクールについて
↓ルールのほか、お金の使い方から開校日数、スタッフの雇用まで、あらゆることを生徒とスタッフの話し合いで決める「サドベリースクール」という形態をとるシードームを視察し、自分たちが学ぶ場を自分たちで作るということについて、スタッフだけでなく生徒からもお話を伺いました。



産業建設委員会

◆期日：令和6年11月12日（火）

～11月14日（木）

◆視察地・項目・内容

① 都留市（山梨県）

・山梨県立リニア見学センターについて

↓山梨リニア実験線での走行試験の様子、リニア中央新幹線の概要や超電導リニアの技術を見学し、県立施設の運営に関する取組を調査しました。

② 北杜市（山梨県）

・有機農業の推進について
↓有機農業を通じて循環型社会を地域ぐるみで構築することを目的とした、有機農業の産地づくり活動などを調査しました。

③ 身延町（山梨県）

・アニメ×町おこし（聖地巡礼や観光誘致につながる取組）について

↓日本国内だけでなく、海外からも熱い人気を集めている日本のアニメが地域にもたらす経済

効果、また聖地巡礼や観光誘致

につながる取組と課題などについて調査しました。

↓アニメ「ゆるキャン△」の実写版ロケ地で、校庭キャンプなど定期的にイベントを開催している閉校した中学校（実写版では本栖高校）を調査しました。

④ 富士市（静岡県）

・下水道事業における包括的民間委託について

↓下水道事業のサービスを確保しつつ、民間事業者の創意工夫を活かした効率的な施設維持管理を行うための委託方式について調査しました。



意見書

次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。

●子どもたちのゆたかな学びを保障するために長時間労働是正を求める意見書

学校の長時間労働是正に資する政策が実行され、以下の措置を講じられるよう強く要望するもの。

1. 長時間労働の一因となっている給特法について、教員のいのちと健康が守られるよう見直しを検討すること。

2. 学習指導要領の内容の精選や標準授業時数の削減等を行うとともに、部活動の地域移行を更に進めること。

3. 子どもたちの学びの充実や教育環境の整備にむけ、人の配置・確保も含め、必要な財源確保等を行うこと。

●地方財政の充実・強化を求める意見書

2025年度政府予算及び地方財政の検討にあたり、現行の

地方一般財源の確保から一歩踏み出し、日本全体として求められている賃上げ基調に相応する人件費の確保まで含めた地方財政を実現するよう、10項目について取り組むことを強く要望するもの。

1. 社会保障の充実、地域活性化、デジタル化、脱炭素化、

物価高騰対策、防災・減災、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握することも必要を的確に把握することもに、それを支える人件費を重視し、現行の水準にとどまらない、より積極的な地方財源の確保・充実を図ること。

2. 子育て対策、地域医療の確保、介護や生活困窮者の自立

支援など、より高まりつつある社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫していることから、地方単独事業分も

ことから、地方単独事業分も



3. 地方交付税の法定率を引き上げるなど、臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組みたい。また、地域間の財源偏在性は是正に向けては、所得税や偏在性がより小さい消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、より抜本的な改善を行うこと。
4. 政府が減税政策を行う場合、地方財政に影響が出ないよう、その財源は必ず保障すること。その際は、「国と地方の協議の場」を活用するなどし、特段の配慮を行うこと。
5. 「地方創生推進費」として確保されている1兆円については、現行の財政需要において不可欠な規模となっていることから、恒久的財源としてより明確に位置付けること。また、その一部において導入されている行革努力や取組の成果に応じた算定方法は、標準的な行政水準を保障するという地方交付税制度の趣旨に反することから、今後採用しないこと。
6. 会計年度任用職員制度の運用については、2024年度から勤手当の支給が可能となったものの、今後も当該職員の処遇改善や雇用確保が求められることから、引き続き所要額の調査を行うなどし、財政需要を十分に満たすこと。
7. 特別交付税の配分にあたり、諸手当等の支給水準が国の基準を超えている自治体に対し、その取り扱いを理由とした特別交付税の減額措置を行わないこと。
8. 自治体業務システムの標準化・共通化に向けては、その移行に係る経費と、移行の影響を受けるシステムの改修経費までを含め、デジタル基盤改革支援補助金を拡充するなど、引き続き必要な財源を保障すること。また、戸籍等への記載事項における「氏名の振り仮名」の追加など、デジタル化に伴い地方においてシステム改修や事務負担の増大が想定される際は、十分な財政支援を行うこと。
9. 地域の活性化に向けて、その存在意義が改めて重視されている地域公共交通について、こども・子育て政策と同様、普通交付税の個別算定項目に位置付け、一層の施策充実を図ること。
10. 人口減少に直面する小規模自治体を支援するため、段階補正を拡充するなど、地方交

付税の財源保障機能・財政調整機能の強化を図ること。

議会のこいかけ



日田玖珠議長会
議員研修会を実施

この研修会は、日田市、玖珠町、九重町各議会相互の連携を図るため、例年11月に実施しているものです。今回の研修会では、元モンゴル駐劄特命全權大使の清水武則氏より、「モンゴルと50年〜大陸から見る日本とアジア〜」と題し、近隣諸国のモンゴルの情勢等について、ご講義いただきました。



研修会の様子



議員相互間の自由討議を
実施

議員相互間の自由討議を、12月定例会中の12月11日(水)に実施しました。

今回の議題は①「議員定数と議員報酬の適正水準を考える」②「ハラスメントを根絶するための条例づくり」と題して、意見を発表・提起し、その提起に基づき議員間で活発な討議が行われました。



議題①発表の様子

今回のまとめとして、①「議員

定数と議員報酬の適正水準を考える」については、会派代表者会や議会運営委員会等で協議を進め、定数・報酬の適正水準について、調査・検討し日田市議会としての合意形成を図っていくこと。また、②「ハラスメントを根絶するための条例づくり」については、日田市議会の議員研修会や日田玖珠議長会研修会等の機会を捉えて、研修を行っていくこととなりました。どちらの議題も、今後の市議会の取組において大きな意味を持つものであり、大変有意義なものとなりました。



議題②発表の様子

選挙管理委員及び補充員

次の4名の方が選挙管理委員に選ばれました。

- 合原 眞知子 氏 (隈2丁目)
- 森山 大二郎 氏 (中央1丁目)
- 安達 明成 氏 (天瀬町)
- 野田 俊一 氏 (鈴連町)

次の4名の方が選挙管理委員補充員に選ばれました。

- 渡邊 孝章 氏 (前津江町)
- 戸田 智子 氏 (玉川3丁目)
- 財津 文憲 氏 (市ノ瀬町)
- 木村 猛 氏 (淡窓2丁目)

こんにちは！
日田市議会 政策研究会です

若者の生活の課題や将来の希望を反映し、日田市の未来をより良くするための政策を立てるために、アンケート調査へのご協力をお願いいたします。



こちらから回答
フォームにお入り
ください。

※アンケート調査では、個人の特定はされません。
※本アンケートは、人口減少や少子高齢化という社会的課題に対して、15歳から20歳代前半の次世代がどのように意識し、どのようなライフデザインを描いているのかを把握することまた、自治体が進める政策と次世代の意識に乖離があるのかを分析し、地域社会における当面の改善点や今後の方向性について示唆を得ることを目的としています。

締切／令和7年2月14日（金）まで

お問い合わせ／日田市議会 議会事務局
電話：0973-22-8214

第1回（3月）定例会の予定

※日程は変更になる場合があります。

2月 26日 (水)	本会議 (議案説明)
3月 5日 (水)	本会議 (代表質問)
6日 (木)	本会議 (一般質問)
10日 (月)	
12日 (水)	本会議 (議案質疑)
13日 (木)	委員会 (6年度分)
14日 (金)	本会議 (")
17日 (月)	委員会 (7年度分)
18日 (火)	
19日 (水)	
21日 (金)	本会議 (")
26日 (水)	



お話を伺いました

「いでぐち交流館」は、今から8年前に、旧出口小学校の跡地に開館した「コミュニティセンター」です。

地域活性化の拠点として、様々な活動を展開し、出口地区をはじめとして日田市を盛り上げる活動の一役を担っています。今回は、館長の高村今朝喜さん（表紙写真）にお話を伺いました。

いでぐち交流館イベント

- 6月 さなばり寄席
- 8月 夏祭り・打上げ花火
- 12月 ウィンターフェスタ
- イルミネーション点灯
- 1月 鬼火たき

イルミネーションのモニタリングは、河津常人実行委員長を中心に委員の皆さん、自治会や区会の方々、小中学生、ボランティアの方々で協力して手作りましたものです。竹を割ってつないで形を作りそれに電飾をしています。プロも勝負けの装飾です。

高村館長の思い

「地域の人が気軽に立ち寄れる場所にしていきたい」という思いで、館長を引き受けて7年になるつもりです。

昔、青年団で活動したことやPTAの役員をしたことなどが現在の活動につながっており、その時に知り合った県内各地や他団体の方々には、今でもイベントや講演会などを開催する際に助けられていっています。



夜空に光輝くイルミネーション



さなばり寄席会場

イベントの開催は、あくまでも人が集まる手段であり、本来は「交流館がいつも開いている、人が集うサロン（談話室）にしたい」と考えているそうです。人と人がふれあうことで、地域の方々が元気に過ごせるのではないかとの思いですが、現在、実現までには至っていないそうです。

高村館長さんは、「今の活動は地域活性化については、よい傾向だと思う。今後は、後継者をつくっていくことが大切。」
「いでぐち交流館からの情報発信をしていくことの必要性も感じている。」
と語られていました。

編集後記

さなばり寄席の「さなばり」は聞きなれない言葉ですが、本来、田植えが無事に済み、田の神「サ」を送るための祭事でした。のちに田植え終わりの祝いや休養日にもなっていました。

さなばり寄席当日の会場は満席で、地域の皆さんの大きな笑い声に包まれました。

高村館長の娘さんのお話によると、イルミネーションづくりには、1か月以上も前から、毎日、仕事終わりに作業に取り掛かり、遅い時間まで準備をされていたとのことでした。

今回、取材に伺った時は、イルミネーションに使う電球の一つ一つに、百ボルトを流した状態で点検する気の遠くなるような手入れや、修復の最中でした。出口自治会・区会の皆さんの、人口減少に負けない地域への熱い思いが、イベントを企画・運営する原動力であると感じました。

（議事編集委員）

今井 美保

◎市議会だよりのお尋ねは、市議会事務局（☎08214）へ。市議会だよりは、環境に優しい「植物油インク」を使用しています。

